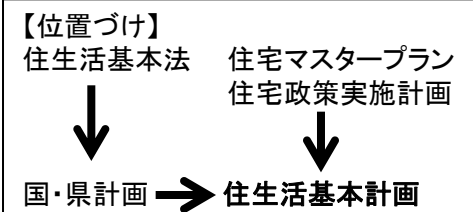


福山市住生活基本計画の概要

1 計画策定趣旨

本市の住宅施策の基本的な目標と総合的な基本方針を示す「福山市住宅マスタープラン」並びにそれを補完し、具体的な住宅政策を示す「福山市住宅政策実施計画」の期間が終了するとともにその間、人口減少や少子高齢化の進行をはじめ、市営住宅等の老朽化・空き家問題等新たな課題が発生していることを受け、国・県計画と整合性を図るとともに市の各関連計画との整合・連携を図るなかで、今後の10年間の住宅政策を示すものである。



2 計画期間

2016年度(平成28年度)～2025年度(平成37年度)

3 基本理念

だれもが安心して安全に、快適に住み続けられる住まいづくり

4 推進体制

市民・行政・民間事業者等との連携

5 住宅を取り巻く主な現状要因及び課題

- 【住宅事情】**
 - ・住宅総数の充足
 - ・空き家問題
 - ・多様化するニーズ
 - ・住宅のミスマッチ
 - ・新築志向
 - ・市営住宅等の老朽化
- 【自然環境】**
 - ・災害の多発
 - ・地球温暖化
- 【国の動向】**
 - ・住宅の長期循環活用
 - ・住宅確保要配慮者対策
- 【社会状況】**
 - ・人口減少
 - ・団塊世代の高齢化
 - ・少子高齢化
 - ・厳しい雇用所得環境

●課題整理

(1)住宅の質・性能に関する課題

- ・長期にわたって住み続けられる良質の住宅の普及
- ・省エネルギー・省資源に配慮した住宅の普及

(2)住環境に関する課題

- ・既存住宅の流通と住環境の保全に向け、空き家に対する適切な対応
- ・住みよい住環境・コミュニティの充実

(3)多様な居住ニーズへの対応に関する課題

- ・多様な居住ニーズに対応した住宅の流通

(4)住宅確保要配慮者に関する課題

- ・住宅確保要配慮者を支援するセーフティネットの充実

(5)人口減少・少子高齢化に関する課題

- ・人口減少・少子高齢化に対応した定住促進

●市営住宅等に関わる課題整理

- 住宅困窮者の多様化に対する住宅供給
- 高齢者世帯の安心した居住の確保
- 子育て世帯の居住促進を進め、少子化への対応
- 市営住宅等の適切な維持・管理

6 目指す姿

基本目標1

安心・安全で豊かな住まいと住環境の構築

基本方針1-1

良質な住宅ストックの形成

基本方針1-2

豊かな住環境の整備

基本目標2

多様な居住ニーズに対応する住まいの実現

基本方針2-1

多様化する住まいのあり方に対応する住宅の実現

基本方針2-2

高齢者が安心して健康に暮らせる住まいの実現

基本方針2-3

障がい者が安心して健康に暮らせる住まいの実現

基本方針2-4

子どもの健やかな成長につながる住まいの実現

基本方針2-5

多様な社会的弱者の居住の安定確保の実現

基本目標3

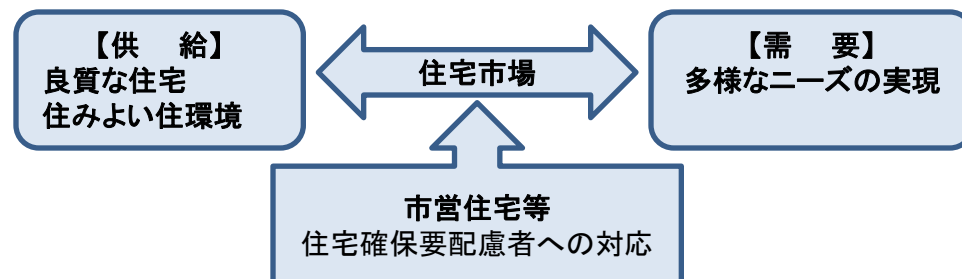
多様な居住ニーズが適切に実現される住宅市場の環境整備

基本方針3-1

既存住宅が円滑に活用される環境の整備

基本方針3-2

市営住宅等の適正な管理



7 成果指標

項目	現状	目標(2025年度)
住宅の耐震化率	74.3% (2013年度)	福山市耐震改修促進計画による
長期優良住宅の認定戸数	384戸 (2014年度)	4,500戸 (今後10年間)
空き家戸数 (その他の住宅数)	12,090戸 (2013年度)	現状維持
危険空家等是正棟数	28棟 (2015年度9ヶ月間)	500棟 (今後10年間)

項目	現状	目標(2025年度)
高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合	2.4% (2014年度)	4%
高齢者の居住する住宅の一定のバリアフリー化率	42.6% (2013年度)	75%
市営住宅等における子育て世帯向け住宅の供給戸数	39戸 (過去5年間)	100戸 (今後10年間)

項目	現状	目標(2025年度)
住宅を取得する際の既存住宅が占める割合	7.9% (2013年度)	15%

8 市営住宅等の供給目標量

項目	現状	目標(2025年度)
市営住宅等の供給目標量	630戸 (過去5年間)	1,320戸 (今後10年間)